

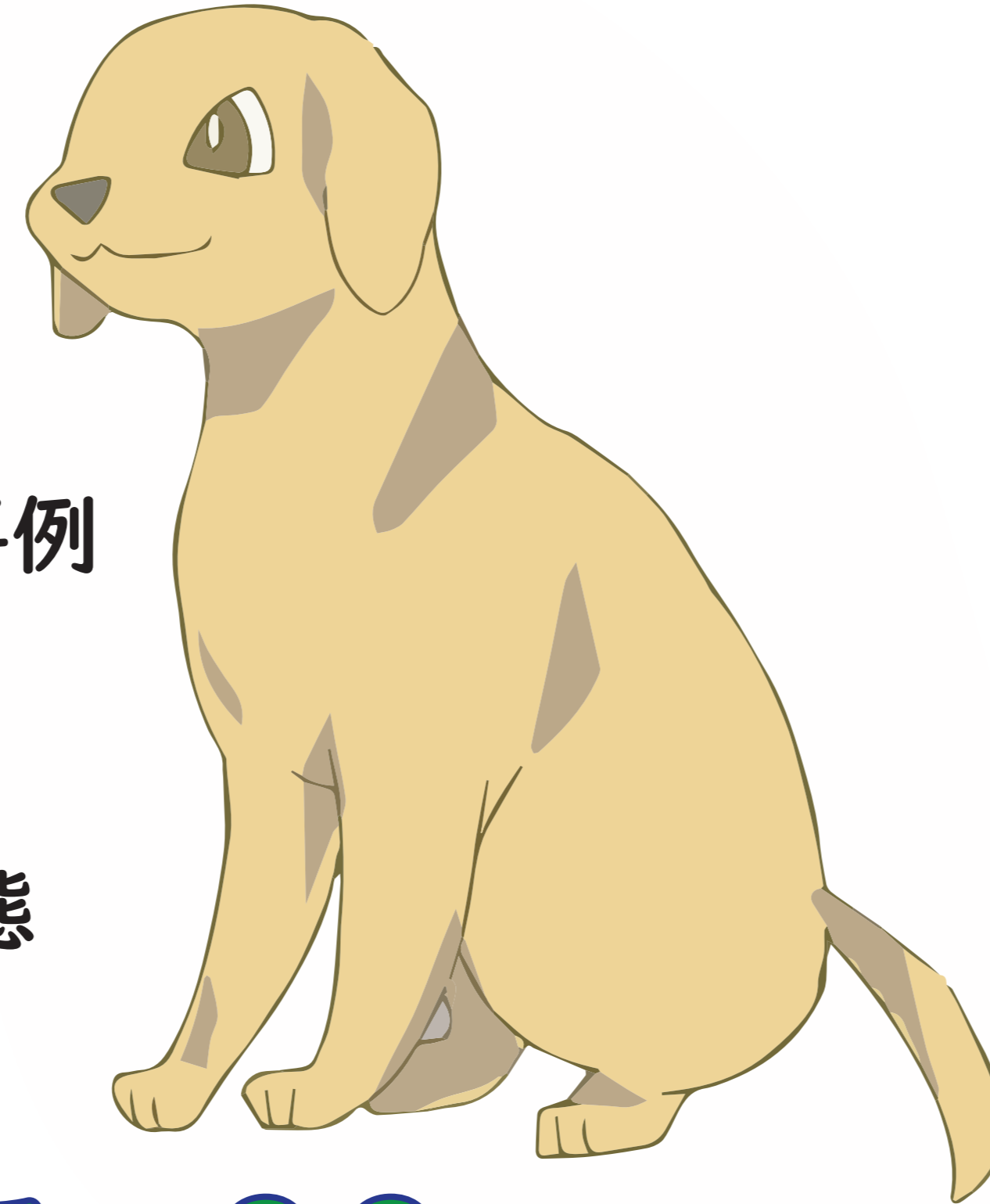
ペットと一緒に 同行避難について

災害時の避難所では、ペット同行避難の受け入れを行います。しかしながら、避難所運営には過密によるクラスター感染のリスクがあります。ペットへの感染防止のためにも、飼い主自身が感染しないことが大切です。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、衛生用品の持参などにご協力をお願いいたします。

ペット同行避難とは??

災害の発生時に、ペットと一緒に指定避難所等まで避難することです。

過去の災害において、ペットが飼い主と離れ離れになってしまう事例が多数発生しました。ペットが負傷し、衰弱・死亡するおそれや、繁殖による頭数の増加で、住民の安全が脅かされたり、公衆衛生上の環境が悪化することも懸念されます。このような事態を防ぐために、同行避難は必要なことと考えられています。



避難所でのペットの生活はどうなるの??

動物が苦手な方やアレルギーのある方に配慮するため、人とは異なる場所にペットの飼育場所を設置し、対応します。

原則的にペットは飼育ケージ内で生活します。避難中の世話は飼い主が責任をもって行い、飼い主同士で協力して飼育場所の運営を行います。

飼い主の皆様へお願い

同行避難に備えて、ペットのしつけや健康管理、備品の準備をしておきましょう。

災害時は動物たちもパニックを起こし、いつもと違う行動を取る可能性があります。安全に避難するために、普段からペットのしつけや健康管理を行い、不妊去勢手術の実施やマイクロチップの装着を検討しましょう。ケージ、キャリーケースに入ることを嫌がらないよう、慣らしておきましょう。



避難中のトラブルを予防するため、ペットを飼っている方も飼っていない方も、安全な避難所運営のためにペット同行避難へのご理解、ご協力をお願いいたします。

災害に備えて

梅雨や台風による大雨が多い時期に備えて、ペットの避難について事前に考えましょう。

避難勧告等がでると、安全な場所に避難する必要があります。災害の状況について、ラジオやテレビ、市のホームページなどから正確な情報を得るように努めましょう。事前に調べていた預かり先について、飼い主の安全が確保できる範囲においてペットを連れて避難しましょう。

1 自宅が危険な区域にあるかどうか、調べてみましょう

調布市防災マップ、調布市洪水ハザードマップをホームページや窓口で閲覧することができます。

2 避難場所の検討をしましょう

- ・安全な場所にある親戚・知人宅など、一時的に安全な場所に移動
- ・ペットホテルやかかりつけの動物病院など、動物関連施設の一時預かりを利用
- ・車内やテントを活用して飼育

同行避難時の持ち物

避難先において、食料などの物資は飼い主が用意する必要があります。あらかじめ避難に必要な物資の備蓄を行っておきましょう。優先度の高いものはすぐに持ち出せるように、袋などにひとまとめに保管しておきましょう。



生活用品（健康や命に係わるもの）

- 犬・猫 キャリーケース、ケージ
- 小動物 虫かご、プラスチックケース
- ✓ペットフード、水（少なくとも5日分程度）
- ✓首輪、リード
- ✓食器（割れない素材のもの）
- ✓療法食、薬
- ✓ペットシート（猫の場合は使用済のトイレ砂があると望ましい）
- ✓排泄物の処理用具（ゴム手袋、トイレ用スコップなど）

ペット用品

- ✓ウェットタオル
- ✓新聞紙、キッチンペーパー
- ✓ビニール袋、養生テープ（ケージの補強や排せつ物の処理に役立ちます）
- ✓おもちゃやお気に入りのタオル

ペットの情報

- ✓緊急連絡先、預かり先などの情報
- ✓ペットの写真（飼い主と一緒に写っているものが望ましい）
- ✓ワクチン接種状況、健康状況、かかりつけの動物病院などの情報

指定避難所等では、同行避難のためにペット登録台帳を記載し提出する必要があります。あらかじめ調布市のホームページから様式をダウンロードし、準備しておきましょう。



衛生用品

- ✓マスク
- ✓体温計
- ✓ビニール袋
- ✓除菌シート

飼い主の感染症対策のために、衛生用品の持参にご協力をお願いいたします。